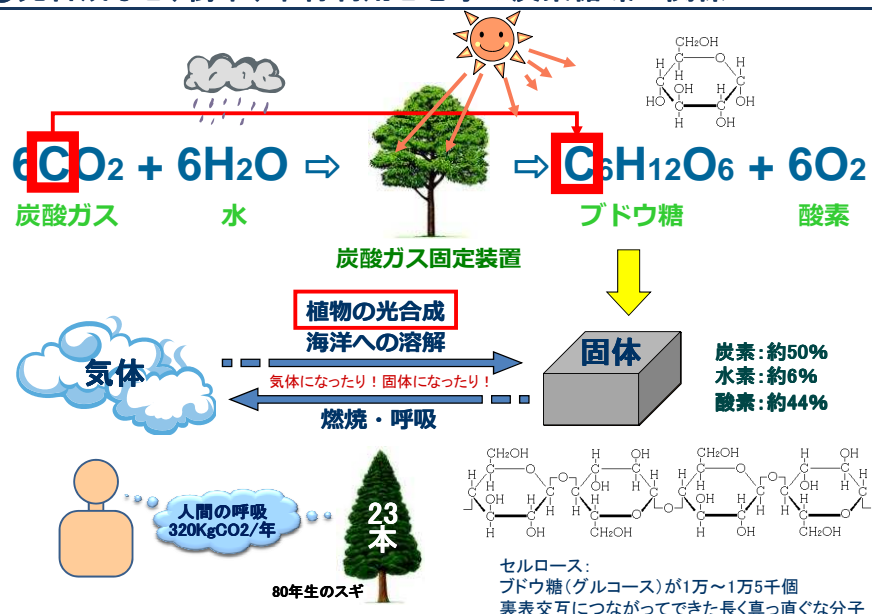


③地球温暖化の現象、機構、緩和策、地球の炭素循環



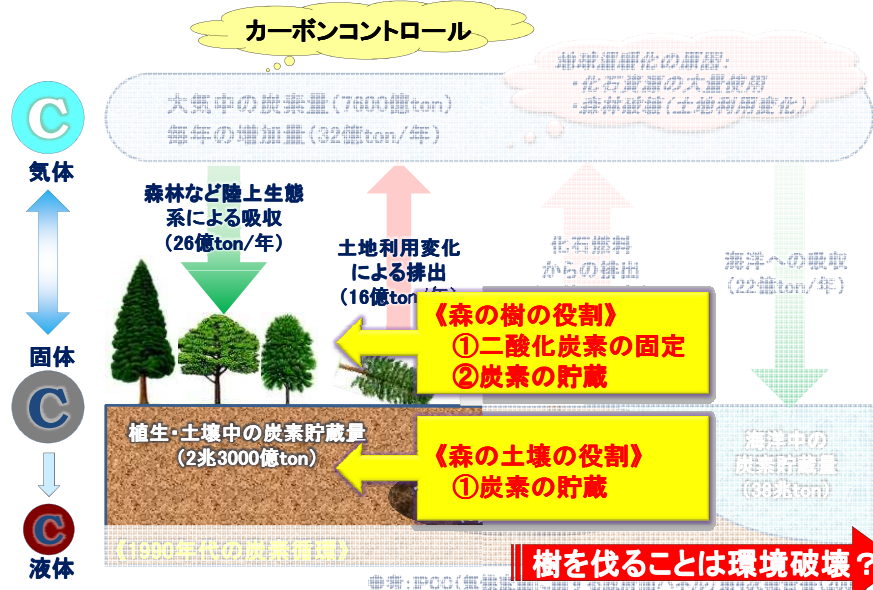
東京大学アジア生物資源環境研究センター環境材設計学研究室 井上雅文

④光合成など、樹木、木材利用と地球の炭素循環の関係



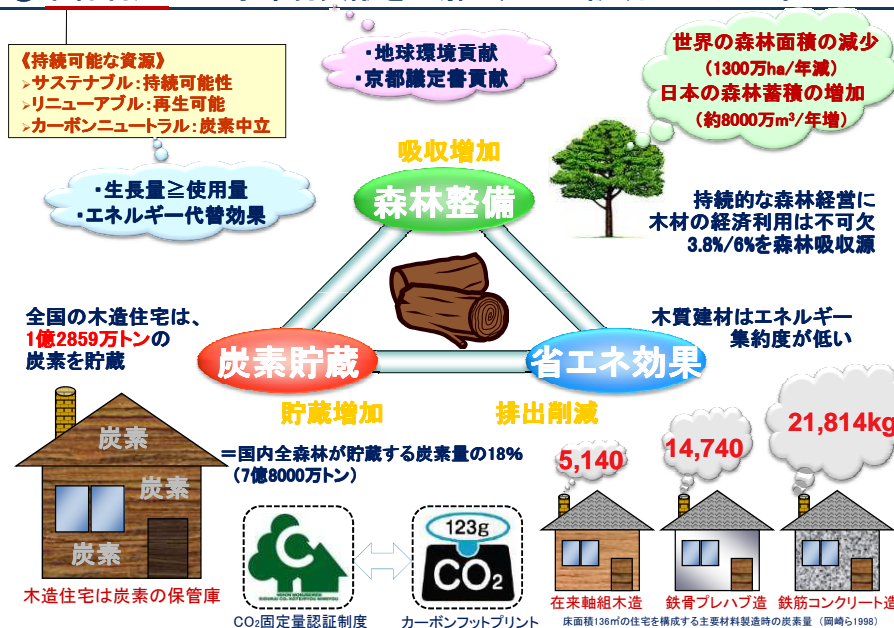
東京大学アジア生物資源環境研究センター環境材設計学研究室 井上雅文

④光合成など、樹木、木材利用と地球の炭素循環の関係



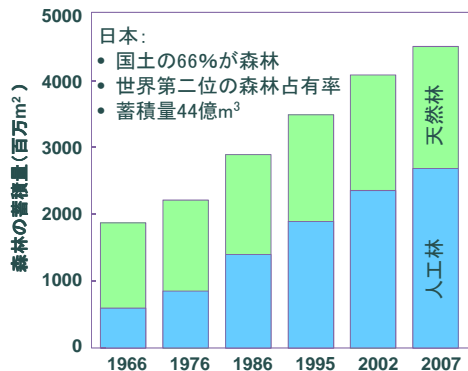
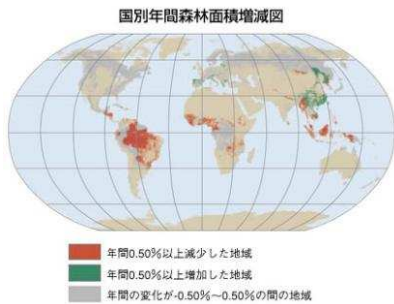
東京大学アジア生物資源環境研究センター環境材設計学研究室 井上雅文

⑤木材利用の地球環境貢献を理解し、正しく説明できること。



⑥その他、木材利用促進の意義を説明できること。 13

世界の森林減少and日本の森林増加



国連食糧農業機関(FAO)2010年発表

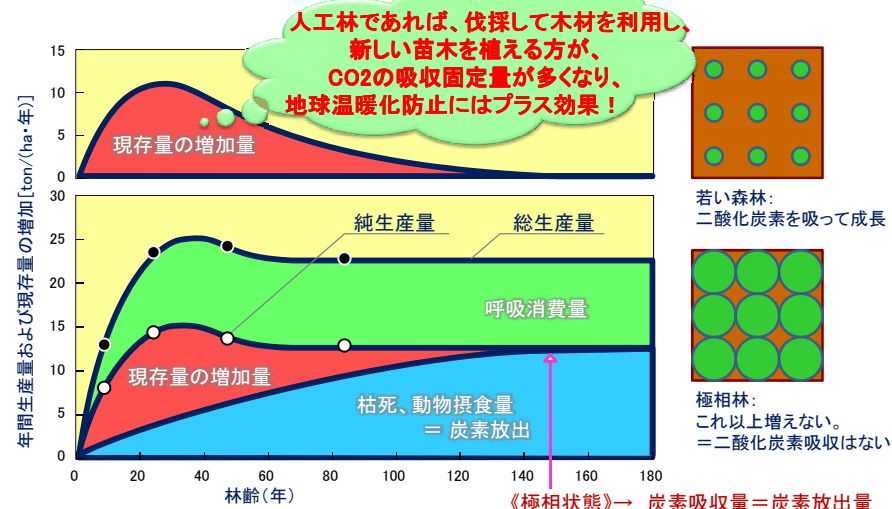
- ✓ 森林減少の加速度は低下したが、森林破壊は続いている。
- ✓ 地域別では特にアフリカと南米が深刻。
- ✓ 1990年～1999年: 1600 + 増加 = 830万ha減少
- ✓ 2000年～2010年: 1300 + 増加 = 520万ha減少 (1分間に東京ドーム5個分)



世界の森林と日本の森林では、事情が違う！

⑥その他、木材利用促進の意義を説明できること。 14

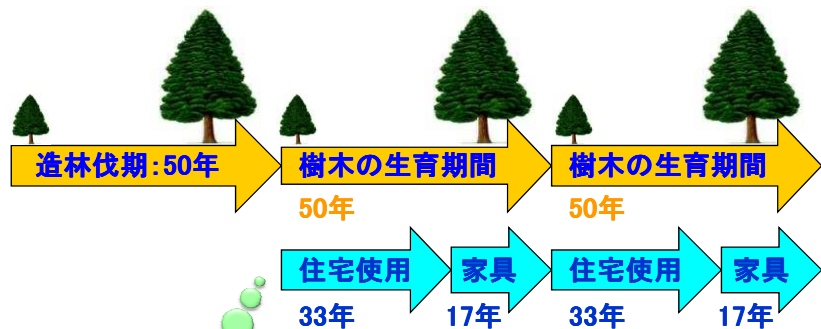
樹を伐採することは環境破壊？



総生産: 樹木が光合成によって生産した有機物の総量
 純生産: 総生産から樹木が生命維持のために呼吸として消費する分を引いた量
 現存量: 純生産から樹木の枯死、動物摂食量を引いた量(蓄積量)

東京大学アジア生物資源環境研究センター環境材設計学研究室 井上雅文

⑥その他、木材利用促進の意義を説明できること。 15



使用する木材の量が生長する樹木の量を超えない限り、木材は永久に持続可能な資源！
 = リニューアブル
 = カーボンニュートラル

さらに、
 ・樹木の生長期間短縮
 ・木材製品の使用期間長期化

積極的な木材利用による地球環境貢献

最後に…… 説明できなければならない！ 16

- ① 最近の木材利用を取り巻く状況
 - ✓ 木材利用における世界の動向は？
 - ✓ 日本政府の動向は？
- ② 地球環境の観点から見た木材利用促進の意義
 - ✓ 木材利用の地球環境貢献とは？
 - ✓ 特に炭素貯蔵効果とは？
- ③ 木づかいCO₂固定量認証制度
 - ✓ 制度の理念
 - ✓ 制度の概要(誰が誰にどのように申請し、どのように認証されるのか?)
 - ✓ 申請者のメリット(認証によって申請者が得られる利益とは?)
 - ✓ 具体的な手続きの方法
 - ✓ 必要経費
- ④ この制度を通じて非会員が木青連会員になってくれるか？
 - ✓ 木青連の会員であることのメリットとは？